

昭和61年度 技術開発実施報告書

(指示 課 題)

熊本営林局

課 題	新規 別 継続	新規	経常・特別別	経 常	担 当 課	造 林 課 計 画 課	開 発 箇 所	延 岡	期 間	昭和 61 年度 ～ 昭和 66 年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額	
			目標との関連	1 ～ ア									円	円				
			広葉樹用材林育成技術体系の確立 (シオジ天然更新育成試験)										物件費	調査用品			円	円
													役務費	現像・その他				～
目 的			シオジ天然更新技術の確立のための基礎調査を行う。										人件費	(基 職) 臨 時	() 18.75			(~)
													計	～				(~)
全 体 計 画			実 施 経 過			当 年 度												
						実 施 計 画				実 施 結 果				評 価 お よ び 普 及 計 画				
1. 試験地設定 (1) 各試験区の区画 (2) 樹下植栽区の本数調査 2. 保育方法別施業 3. 調査事項 (1) 成立本数調査 (2) 稚樹発生状況調査 (3) 生長量調査 (4) 種子結実(豊凶)調査 (5) 林内相対照度調査 (6) 虫害調査						1. 試験地設定 2. 調査事項 (1) プロット NO.3 及びNO.4の林況調査 (2) 稚樹発生調査 (3) 種子結実状況(豊凶)調査				1. 試験地設定 2. 調査事項 (1) プロット NO.3 及びNO.4の林況調査 (2) 稚樹発生調査 (3) 種子結実状況(豊凶)調査								

広葉樹用材林育成技術体系の確立 (シオジ天然更新育成試験)

1. はじめに

シオジの天然更新の施業体系を確立するための基礎資料を収集する試験を試みた。

2. 試験地の設定

(1) 設定

昭和61年度

(2) 場所

大分県南海部郡宇目町夏木国有林 5林班

(3) 面積 0.88 ha

(4) 地況

ア. プロット No. 1~2 (5林班リ川班内 13の小班)

標高 1000m 方位 N 傾斜急 土壌型 BD-d

イ. プロット No. 3 (5林班K川班)

標高 800m 方位 N 傾斜急 土壌型 BD-d

ウ. プロット No. 4 5林班の小班

標高 1000m 方位 N 傾斜急 土壌型 BD-d

(5) 林況

ア. プロット No. 1~2

伐採跡地

伐前の林況 ツガシオジその他広葉樹 100年生 1haあたり 280m²

イ. プロット No. 3

ツガシオジその他広葉樹 100年生 1haあたり 230m²

ウ. プロット No. 4

ツガシオジその他広葉樹 100年生 1haあたり 280m²

(6) 設定方法

ア. プロット No. 1 (皆伐跡地、無地形、無下刈区)

面積 0.20 ha

40m x 50m のプロットを設定し、中心に 40m x 5m の

面積 200m² の標準地を設定した。

イ. プロット No. 2 (皆伐跡地、無地形、保育施業区)

面積 0.20 ha

40m x 50m のプロットを設定し、中心に 40m x 5m の標準地を設定した。

ウ. プロット No. 3 (樹下極載区)

面積 0.28 ha

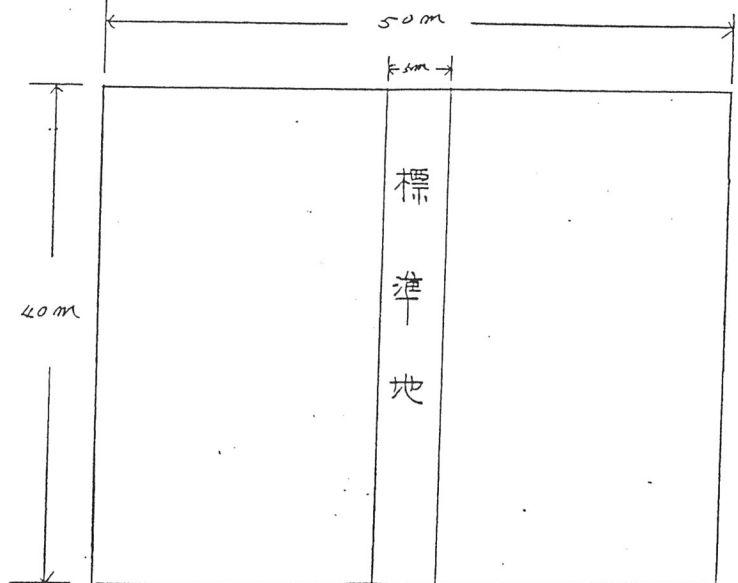
設定前の上木 502 本、透光伐 176 本、現在本数 326 本、樹下極載 300 本。

エ. プロット No. 4 (対照区)

面積 0.20 ha

40m x 50m のプロットを設定し、中心に 40m x 5m の標準地を設定した。

図-1 試験地設定図



課	新規 継続	継続	経常・特別別	担	開 発 箇 所	期 間	昭 和 5 / 年 度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
			目標との関連							物 件 費	調 査 用 品		円	千 円
課				当	造林課		昭 和 5 / 年 度			役 務 費	現像. その他			
目	ソイツ林分更新育成試験										人 件 費	(基 礎 職) 時	()	()
的	ソイツ天然林施業として実施するにあつてその基礎となる資料の収集										計		19	()

全 体 計 画	実 施 経 過	当 年 度 分		
		実 施 計 画	実 施 結 果	評価および普及計画
1. 試験区の設定 2. 混合林区の本数調整 (1ha当り約200本保残) 3. 成長量調査 4. 稚樹発生調査 5. 種子結実量調査 6. 虫害木被害調査 7. 林内照度調査	1. 試験区の設定 5区画 2. 稚樹発生調査 皆伐放置区・保育施業区 3. 成長量調査 皆伐放置区、保育施業区 4. 下刈 保育施業区 5. ソイツ結実調査 6. 試験区立木調査 7. 本数調整 8. 樹下植栽	1. 試験地調査 1. 稚樹発生調査 2. 成長量調査 2. 混合林区の本数調整 3. 種子結実調査 4. 林内照度調査	NO.1 皆伐放置区 16650本/ha NO.2 保育施業区 47500本/ha NO.1 皆伐放置区 根元径 7.4cm 高 47.50m NO.2 保育施業区 根元径 7.7cm 高 53.10m 0.28 ha 3269 欠 不実行	

試験経過記録

区分指示

延岡 営林署

(様式4) ~ /

課題

ツツ林分更新育成試験

1. 対象区 (ツツの主林木区) No. 4

面積 0.20 ha. ツツ 29 本
その他 7 本

2. 保育施業区 No. 2

面積 0.20 ha. 稚樹発生本数 47.500 本/HA.

3. 皆伐放置区 No. 1

面積 0.20 ha. 稚樹発生本数 16.650 本/HA.

4. 本数調整区

面積 0.28 ha. 調整前本数 502 本
後 " 326 本

樹下植栽 300 本

記載要領

1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

試驗經過記錄

区分指示

延岡 營林署

(様式4) ~ 1

課題

ツブツ林分更新育成試験

1. 上層木保存区 No.4
 面積 0.20 ha ツブツ 29 本 稚樹・幼樹発生本数 21700 本/HA 平均径 8.1 mm (根幹径) 平均高 20.3 m
 幼地 7 本 12.9 mm (胸径) 49.
2. 保育施業区 No.2
 面積 0.20 ha 稚樹発生本数 47500 本/HA.
3. 皆伐放置区 No.1
 面積 0.20 ha 稚樹発生本数 16650 本/HA.
4. 樹下植栽区 No.3
 面積 0.28 ha 調整前本数 502 本
 後 " 326 本
 樹下植栽 300 本 (1071 本/HA)
 平均根径 5.4 mm
 平均高 42.0 cm

記載要領

1. 調査結果及び考察を記入する
2. 状況写真は別途整理する

ツォツ 林分更新育成試験位置図

延岡

